

# 議論から施策の実態を掴もう

## 国労ちば

国鉄労働組合  
千葉地方本部  
発 行 加藤 晃一  
編 集 高橋 弘幸  
【電話】  
JR 2930 FAX 2934  
NTT 043 (238) 5963  
FAX 043 (238) 5967

一人では何も変わらない

### 千葉工務協第34回定期委員会

3月5日、千葉地本会議室にて第34回定期委員会が開催された。

委員会は永野副議長の開会あいさつで始まり、議長には千葉土木分会の土屋さんが選出され「コロナ禍前の一日かけて開催する委員会と違い、短時間開催であるが、多くの委員からの発言を。私は今年8月でエルダー社員を終了する。最後まで国労の仲間と共に頑張っていきたい」とあいさつし議事を進めた。



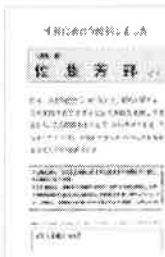
千葉地本の北嶋書記長は最近の情勢と今後の取り組みを含めてあいさつした。

■建築職場では業務の簡素化が進められている。契約はシステムだが設計・工事の仕事が

いさつし「この時期にレール継目板折損などの事象が多い。一歩間違えば大事故になりかねない。現場での生の声を具体的に議論しながら問題点をまとめて会社側に交渉を申し入りたい」と述べた。

続いて、森田工務協議長からは「赤字だった国鉄でさえ定期昇給のカットはなかったが、昨年はJR東日本だけがコロナ禍による赤字を理由に定期昇給を半額カットした。目先のことしか考えていない。今後、設備センサーという保険の再編もあるが、先行きが見えてこない。施策の実態をハッキリ掴み取るためにも今委員会で議論し、見通せるようにしたい」と主催者を代表しあいさつした。

#### 各委員からの発言



要員不足により助勤で18時まで現場にいる時もある。労働組合に入っていない人は今後の情勢が不安なのか組合掲示板の機関紙を見て確認している。若手社員の多くは基本給が安い超勤により生活費を得ることが定着している。保線と違う職場（CT会社）に配属されたから8名が退職し2名が転勤した

一括して企画担当へという見直しがある。もし、担当者が病気で休んだら代わりがない。保技七線路科から安全・企画科に配属となったが、要員が減られ業務がギリギリの状態だ。線路科の

今回の選挙は、会社も本腰を上げてくるだろうとの予想から、昨年からの話し合いを進め、2月に佐倉分会と成田分会の合同の打ち合わせ会議を開催し、社員代表の意義や安全衛生委員会についての取り組みなどを意見交換し、合同の選対を設置することを確認した。

成田駅務管区内の組

### 社員代表選挙を闘って

#### JESS成田駅務管区での闘い

合同に情報共有しようというイングループを作り、それぞれが情報を持ち寄った。

その結果、組合員のAさんの「〇〇駅の△△さんに投票依頼したところ、反応はこうだった」との声かけ記事を見た別の組合員が、自分も誰かに依頼しようと思うようになるなど皆が同じ方向を向く事が出来た。

また、職場に足を運ぶと、トイレの封鎖の問題やゴミ箱撤去のその後、時計の撤去、締切時の現金回収の問題

が、その後の補充が少なく少ない要員で仕事をこなしている等々。

最後に「こういった問題を地本と相談しながら、団体交渉などで解決に繋がりたい」と海後事務局長が、森田議長の音頭で団結カンパニーを三唱し閉会した。

役員体制  
議長 森田 誠一  
副議長 永野 光治

などが次々に明らかになったことで、今後の課題が見えてきた。

社員代表選挙を通して、こうしたことが一番重要なことなんだと改めて感じた。

出来ればもっと職場の課題を、ラインでも良いので共有しても良かったか。

いずれにしても、佐藤組合員が社員代表ということになったが、会社の施策が目白押しで、安全衛生に関わることにしても課題が山積していることから、今後も社員代表とともに両分会組合員全員で取り組んでいく。

成田・佐倉分会  
合同選対

### 合図機

今年も2月16日がやって来た。何の説明も無く紙切れ一枚で不採用を通知されてから35年、わが故郷の北海道では新幹線建設が進むが並行する在来線は存続が難しくバスへの転換を迫られている。地方創生というのはどこか地方だろうと思うくらい維持困難路線が増え続けている。国鉄末期にはJRへの採用選別のため社員に様々なことを提案させていたがそのDNAは今でも姿形を変えて生き続け、今また復活している。社員提案で閉鎖した窓口の奥では実態の解らない「企画業務」が行われ、お客様が困ってウロウロする近くではポスター張りが行われている。超勤としてやっていたことが業務中にでき、ウインウインの関係と思いたいのだろうが、お金を払って乗ってくれるお客様が犠牲になることに目を向けようとする。昔を知らない若い世代がなぜ同じことをと不思議に思うが、繰り返してはならない歴史を伝えていくのは経験してきた我々の責務だ。(弘)

# ダイヤ改正により 涙・涙・涙( ; ∨ ; )

3月15日発行の国労ちば(拡大地方委員会特集号)の2面でも「房総特急トクだ値批判が続出!」の記事を掲載したが、3月12日のダイヤ改正では、様々な施策が取り組まれた。また、経費削減・ペーパーレス化により様々なものが廃止された。

◆幕張車両センターから回送電車を東京駅まで担当した後、折返し発車時間が8分しか無いため、ドア開扉、案内設定を焦りながらやっている。

◆9名の転勤者が出たが仕事が回らなくなるため7名は4月1日に変更になったとの事。

◆タブレットの時刻表アプリは東京駅が主体なのか、順番が時間順になっていないため誤

案内してしまう。

◆利用者へ配布する時刻表がなくなり、売店で売っていたポケット時刻表も廃止。携帯電話で二次元コードを読み取るように会社は言うが、携帯電話を使いこなせる人は少なく、持っていない人もいる。年寄りにはやさしくない

と苦情。

◆房総特急えきねっとトクだ値は毎日予約を入れなければならない。

◆ホームに時計がなくトクだ値は毎日予約を入れなければならない。



新役員体制  
 分会長 林 啓一  
 副分会長 名雪 勝男  
 書記長 小澤 康雄

## 習志野運輸区分会

3月24日、地本会議室にて第76回定期大会を開催した。



# 2022春闘勝利! 千葉県総決起集会

3月8日、千葉市民会館特別会議室において、国鉄闘争の経験と教訓を活かす千葉県共闘会議主催の「2022春闘勝利!千葉県総決起集会」が、検温・消毒等コロナウイルス感染症への対策を取りながら開催された。

N関労千葉中央分会・秋島分会長の司会・開会あいさつに始まり、主催者を代表して千葉県共闘会議議事本議長(高教組委員長)があいさつ。

来賓あいさつでは、社会民主党千葉県連合・かつまた市川市議会議員、新社会党千葉県本部・鳩川書記長、日本

共産党千葉県委員会・さいとう和子元衆議院議員より情勢報告を含めた連帯のあいさつ。立憲民主党千葉県総支部連合からは連帯のメッセージが届いた。

各労組・団体からの報告では、千葉スクラムユニオン、郵政産業労働者ユニオン千葉県協議会、東葛ふれあいユニオン、全水道千葉県水道労働組合、千葉県高等学校教職員組合、国鉄労働組合千葉地方本部より、2022春闘における取組みが報告された。

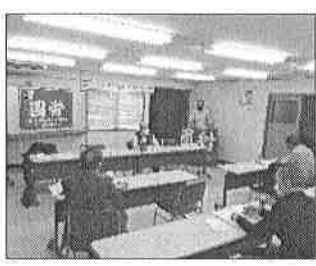
争議団・闘争団闘争報告では、JAL被解雇者労働組合の鈴木さ

ら、平野さんより争議の一日も早い全面的な解決に向け闘争報告と支援の要請があった。また、全労ユニイテッド闘争団の千田さんからは「不当判決を覆す闘いを展開し、勝利解決するまで闘い続ける」と力強い発言と、支援の要請があった。

千葉スクラムユニオンの小柳書記長より、集会アピールが提案され、全体の拍手で承認された。

最後に、国労千葉地方本部の加藤委員長の閉会あいさつで終了した。

集会には40名が結集した。



## 分会大会を開催

### 新小岩保線分会

3月20日、千葉地本会議室において第22回定期大会を開催した。

寺林委員長は「コロナ禍で組合員が集まる場が失われる中、分会交流会を開催したこと

は大きな成果だ。また、毎月執行委員会もやってきた。この様な運動の成果を総括し運動をつなげていこう」とあいさつ。

地本の加藤委員長は「職場には多くの不満がある。こうした声の受け皿になれるような労働運動を再生しなければならぬ」とあいさつ。

だが、客層が悪く神経的にぎつい」「エルダー出向先の保安警備室の国鉄時代からある古いベッドを替えさせた」「パートナー会社で『短日勤務制度』にしたが、夜間作業の回数が変わらず退職する組合員も」「パートナー会社では年100回以上夜間作業の責任者に就いたら1万円支給されるが、作業従事員は対象ではないと不満の声が多い」「JR本体では若手社員はデスクワークが多く、要員不足で現場に出動されると、戻ってから超勤が当たり前」など、多く問題点が出された。

とあいさつした。

討論では「JR東日本グループ傘下の警備会社にエルダー出向し

新役員体制  
 分会長 寺林 義人  
 副分会長 鈴木富智雄  
 書記長 石井 広幸